

講義名	神戸の景観と歴史		
科目区分	教養一般		
担当教員	藤原 喜美子		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 2時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	42042

主題と概要

この講義では、本学が位置する神戸を対象に、「街の景観と歴史」を主題として紹介する。幕末の開港をはるかにさかのぼる兵庫津の湊、開港後の国際的な港湾都市としての役割、近代都市へ移行する神戸の歩みを取り上げたい。そして、私たちが日常的に接している風景の中に、堆積された歴史を考える視座を提供していきたい。

到達目標

講義の内容を理解した上で、自らが描く「神戸像」について、自分の言葉で他の人に話すことができるようになる。

提出課題

1. 指定したテーマについて、中間レポートの提出を求める。題目は別途指示する。
2. 毎回、講義の際に、感想文等を提出してもらう。

評価の基準

1. 原則として、出席調査を実施する。
2. 評価は、定期試験（50点）、中間レポート（30点）、平常点（20点）を総合して行う。

履修にあたっての注意・助言他

都市の来歴を知ることを通じて、日常的に接している神戸を見直し、受講者各自が新しい神戸像を獲得してほしい。そのためには、講義を聴くだけでなく、神戸に関する新聞記事や図書館・書店の郷土コーナーにある関連文献にも積極的に目を通し、講義で取り上げた市内各所をフィールドワークしてほしい。

教科書

.使用しない.

プリント資料及び参考文献

プリント資料...各時間、配布する。
参考文献...講義中に適宜紹介する。

授業計画

1. 神戸と景観
神戸の景観をどのように捉えるか
2. 瀬と酒造業
3. 六甲山の利用
4. 神戸開港と居留地
5. 北野と町並み
6. 神戸と浄水場
7. 兵庫港と兵庫運河
8. 兵庫津と廻船業
9. 兵庫津と西国街道
10. 兵庫と平清盛
11. 長田の町並み
12. 多井畑と信仰
13. 垂水と海
14. 有馬と信仰
15. まとめ
私たちの神戸像

予習・復習

予習...毎回の講義の最後に、授業計画にある翌週のテーマを紹介する。そのテーマについて、翌週までに各自が興味のある事柄を1つ調べる。
復習...講義終了時、各自がその日の講義内容に関する要点を確認する。

備考

この講義は、神戸に関わることは何でもテーマになる。各自が考える神戸の魅力を探すきっかけにもらいたい。また、書籍の中に記されていないことから魅力を発見する人もいると思う。実際に各自で神戸市内を歩く機会を増やしてもらいたいと思う。